

事業概要：豊田市猿投棒の手ふれあい広場リニューアルによる地域活性化事業

新規

申請者	愛知県豊田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	108,351千円 (106,651千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	棒の手会館の体験型展示へのリニューアルやデジタル観光施策を通じ、登山客等の来訪者を地域資源へ誘導し、地域内の回遊性向上と滞在時間の延伸を図る。また、猿投神社や旧龍性院庭園等と連携した面的な観光振興を推進し、地域資源の認知度向上と交流人口・関係人口の拡大を目指す。さらに、イベント開催や文化財保全活動を通じて地域の担い手を育成し、文化財の保存と地域活力の維持を図る。これにより、観光消費の拡大や関連産業の活性化を促進し、地域経済の持続的な発展につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 豊田市棒の手会館の展示をリニューアルして体験型の展示を取り入れ、地域資源の情報発信ブースを新設することで棒の手と関わりの深い猿投神社など地域資源への玄関口として位置付ける。また、デジタル観光アプリを導入して地域資源を面的に結びつけることで、地域資源の見学者を増やし、本市の歴史への理解を深める。地域資源である名勝 旧龍性院庭園の見学会や環境整備作業等を開催することで、広く周知するとともに文化財を守る関係人口を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・リニューアルオープンイベント（委託料） 4,000千円 ・プロモーション（委託料） 1,275千円 ・地域資源への回遊事業（委託料など） 750千円 ・旧龍性院庭園での関係人口創出事業（委託料など） 1,000千円 ○拠点整備事業 ・豊田市棒の手会館リニューアル 101,326千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口（+30人） ②豊田市猿投棒の手ふれあい広場 利用者数（+8,600人） ③デジタル観光アプリのツアー利用件数（+400件） ④歴史・文化に対する愛着や誇りを持っている市民の割合（+2%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toyota.aichi.jp/s-hisei/gyoseikeikaku/toshikeiei/1064608.html